

宇都宮市立星が丘中学校 第2学年 生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「誰に対しても思いやりの心をもって接している。」と回答している生徒が92.3%おり、また「人と話すのが楽しい」は91.9%になっている。豊かな心をもち、円満な人間関係を築けている生徒が多く、全体として落ち着いた学校生活を送ることができている。

○「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。」と96.5%の生徒が答えている。今後も授業や学校の諸活動で対話力向上の場を与えていきたい。

●「家庭で宿題はきちんとやっている」という結果が出ている一方、「予習している。」が43.1%「復習している」が68.5%であり、「自分で計画を立てて勉強している」は56.5%となっている。時間の使い方を考え、家庭での学習を計画的に進められるよう、定期テストなどの機会を使って指導していきたい。

●基本的な生活習慣では、「早寝、早起きを心がけている。」という質問で去年は57%だったが、66.2%と改善の方向にある。しかし、まだ、県や市の平均よりやや下回っている。生活のリズムを整え、生活も学習も計画的にできるようにさせたい。

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
言語活動の充実	普通教室および特別教室に生徒用ホワイトボードを常備し、生徒が話し合い活動を行って考えをまとめたり、発表したりするとき活用させる。	「クラスの友達の間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」、という回答が多い。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよく行っている」の肯定回答が53.1%で県や市の平均を下回っている。	振り返る活動の充実	生徒が課題に取り組む時間を十分確保しながらも、授業や単元の最後に振り返りの時間が確実にとれるよう、単元や授業の構成・振り返りの方法などを工夫していく。